

注3

大学番号：私239

[平成22年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

届出

星薬科大学大学院 薬学研究科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 星薬科大学
平成23年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 教務部

職名・氏名 カチョウ セオマサヒロ
課長・瀬尾昌弘

電話番号 03-5498-5817

（夜間） 03-3786-1011

F A X 03-5498-5976

e-mail kyomu@hoshi.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には届出時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成23年3月11日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1	調査対象大学等の概要等	p.1
2	授業科目の概要	p.5
3	施設・設備の整備状況, 経費	p.7
4	既設大学等の状況	p.8
5	教員組織の状況	p.9
6	留意事項に対する履行状況等	p.16
7	その他全般的事項	p.17

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 星薬科大学

(2) 大学名

星薬科大学

(3) 大学の位置

〒142-8501

東京都品川区荏原二丁目4番41号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(オオタニ タクオ) 大谷 卓男 (平成19年7月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	変更なし
学長	(ナカジマ テルミ) 中嶋 暉躬		変更なし
学部長			
研究科委員会 委員長	(ナカジマ テルミ) 中嶋 暉躬		変更なし

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成20年度に報告済の内容 → (20)

平成23年度に報告する内容 → (23)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成21年度開設の博士後期課程の場合(平成23年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
薬学研究科 総合薬科学専攻(修士課程) 修士(薬科学)	2年	16人	32人	基礎となる学部等 薬学部 創薬科学科

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成23年度		平均入学定員超過率	備考
	平成22年度	平成23年度	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	16人 () []	16人 () []	16人 () []	16人 () []	1.74倍	
志願者数	28 (4) [-]	- () []	29 (-) [1]	- () []		
受験者数	28 (4) [-]	- () []	29 (-) [1]	- () []		
合格者数	27 (4) [-]	- () []	29 (-) [1]	- () []		
B 入学者数	27 (4) [-]	- () []	29 (-) [1]	- () []		
入学定員超過率 B/A	1.68		1.81			

- (注) ・ ()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 届出書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 ・ 「平成23年度」には, 平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20~22年度」には, 確定した数値を記入してください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成23年度		備 考
	平成22年度	平成23年度	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 27	[] -	[1] 29	[] -	
2年次	/		[-] 27	[] -	
計			[-] 27	[1] 56	

- (注) ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
 - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 0 [0]	(累積)計 0 [0]	0%
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 0人	
	(主な退学理由)		

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<薬学研究科 総合薬科学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	臨床薬学特別講義Ⅱ	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	基盤薬学特論Ⅰ	1・2(隔年)		1		1	1					
	基盤薬学特論Ⅱ	1・2(隔年)		1		1	1			1		
	基盤薬学特論Ⅲ	1・2(隔年)		1		1		1				
	機能分子薬学特論Ⅰ	1・2(隔年)		1		1	1	1		$\frac{1}{2}$		助教1名が講師に昇格(22.4)
	機能分子薬学特論Ⅱ	1・2(隔年)		1		2	2			3		
	創薬化学特論Ⅰ	1・2(隔年)		1		2		1		$\frac{1}{2}$		助教1名が講師に昇格(22.4)
	創薬化学特論Ⅱ	1・2(隔年)		1		2 1	1	1		1 3		准教授が教授に昇格(22.4) 助教2名が退職(22.6/22.7) 助教1名が配置換えて講師に昇格(22.7) 教授1名が定年退職(23.3)
	創薬化学特論Ⅲ	1・2(隔年)		1		1	1					
	環境保健学特論Ⅰ	1・2(隔年)		1		1	1			1		
	環境保健学特論Ⅱ	1・2(隔年)		1		1	1			2		准教授1名を新規採用(22.1)
	環境保健学特論Ⅲ	1・2(隔年)		1		1	1			1		
	治療薬学特論Ⅰ	1・2(隔年)		1		1	1			1		准教授を配置換え(23.5)
	治療薬学特論Ⅱ	1・2(隔年)		1		2	1	1	1	1		
	臨床薬剤学特論Ⅰ	1・2(隔年)		1		1	1	1		1		准教授が教授に昇格(22.5) 講師を新規採用(23.4)
	臨床薬剤学特論Ⅱ	1・2(隔年)		1		1		1				助教1名を配置換え(22.7)
	病態解析学特論Ⅰ	1・2(隔年)		1		1	2			3		教授が休職により研究科委員から外れる(23.4) 教授が病気により死亡(23.4)
	病態解析学特論Ⅱ	1・2(隔年)		1		1	1			1		
	臨床薬学特別講義Ⅰ	1・2		1								兼6→兼7 都合により非常勤講師を辞退された方がいたため、新規依頼に
	臨床薬学特別講義Ⅱ	1・2		1								兼6→兼5
	臨床薬学特別講義Ⅲ	1・2		1								兼9→兼8 に対応。また、一部教員を追加した。
	臨床薬学特別講義Ⅳ	1・2		1								兼6→兼8
						18				7	15	
	総合薬科学特別演習	1・2	6			21 19	14	5		19		上記専任教員全員で担当
	総合薬科学特別研究	1・2	14			21 19	14	5		18 22		上記専任教員全員で担当

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1) 授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3) 未開講科目」欄には記載する必要はありません。)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
2	21		23					変更なし

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。（ただし，未開講科目があった場合は，（1）「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 校舎増築のため校舎敷 地増加(22.3)			
	校舎敷地	7,948 7,010㎡	0㎡	0㎡	7,948 7,010㎡				
	運動場用地	12,037㎡	0㎡	0㎡	12,037㎡				
	小 計	19,985 19,047㎡	0㎡	0㎡	19,985 19,047㎡				
	そ の 他	13,227 14,165㎡	0㎡	0㎡	13,227 14,165㎡				
	合 計	33,212㎡	0㎡	0㎡	33,212㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 校舎増築のため増加 (22.3)			
		35,522 33,357㎡ (33,357㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	35,522 33,357㎡ (35,522) 33,357㎡				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	校舎増築のため増加 (22.3)		
		20 17室	24 19室	13室	2室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		薬学研究科 総合薬科学専攻			61 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体	
	総合薬科学専攻	120,709 [54,638] 119,911 [54,742] (118,977 [54,313]) (117,911 [53,942])	1,370 [613] 1,358 [608] (1,366 [608]) (1,358 [608])	1,992 [1,266] (1,789 [1,012]) (1,992 [1,266])	418 437 (432)	2,000 (1,912)	1,285 (1,285)		
	計	119,911 [54,742] (117,911 [53,942])	1,358 [608] (1,358 [608])	1,992 [1,266] (1,992 [1,266])	437 (432)	2,000 (1,912)	1,285 (1,285)		
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数				大学全体	
		1,953㎡	237席	196,000冊					
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
		2,090㎡	弓道場、テニスコート(硬式・軟式)、屋外プール						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	景気及び学生の負担を考慮して学費を値下げした。(22.4)
		教員1人当たり研究費等	2,300千円	2,300千円	図書購入費	86,000千円	90,000千円	90,000千円	
	共同研究費等	5,000千円	5,000千円	設備購入費	126,000千円	230,000千円	150,000千円		
	学生1人当り納付金	第1年次 920 1,230千円	第2年次 800 1,000千円	第3年次 800 1,000千円	第4年次 800 1,000千円	第5年次 800 1,000千円	第6年次 800 1,000千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要								

(注)・届出時の計画を、届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成23年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(23)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	星薬科大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
薬学部									
薬学科	6	260	0	1,560	学士(薬学)	1.04	平成18年度	東京都品川区 荏原二丁目	
創薬科学科	4	20	0	80	学士(薬科学)	1.68	平成18年度	4番41号	
大学の名称	星薬科大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
薬学研究科									
総合薬科学専攻 (修士課程)	2	16	0	32	修士(薬科学)	1.74	平成22年度	東京都品川区 荏原二丁目	
薬学専攻 (博士課程)	3	8	0	24	博士(薬学)	0.45	昭和50年度	4番41号	
医療薬科学専攻 (博士課程)	3	6	0	18	博士(薬学)	0.51	平成12年度		

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校等の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・ 届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)の記載は不要です。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<薬学研究科 総合薬科学専攻>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	河合 賢一	平成22年4月	基礎薬学特論Ⅰ(隔年) 総合薬科学特別演習 総合薬科学特別研究						
専	教授	米谷 芳枝	平成22年4月	機能分子薬学特論Ⅱ(隔年) 総合薬科学特別演習 総合薬科学特別研究						
専	教授	本多 利雄	平成22年4月	創薬化学特論Ⅰ(隔年) 総合薬科学特別演習 総合薬科学特別研究						
専	教授	森田 博史	平成22年4月	創薬化学特論Ⅱ(隔年) 総合薬科学特別演習 総合薬科学特別研究						
専	教授	東山 公男	平成22年4月	創薬化学特論Ⅲ(隔年) 総合薬科学特別演習 総合薬科学特別研究						
専	教授	辻 勉	平成22年4月	環境保健学特論Ⅱ(隔年) 総合薬科学特別演習 総合薬科学特別研究						
専	教授	鎌田 勝雄	平成22年4月	病態解析学特論Ⅱ(隔年) 総合薬科学特別演習 総合薬科学特別研究			後任未定			平成23年4月 病気により死亡
専	教授	中澤 裕之	平成22年4月	基礎薬学特論Ⅱ(隔年) 総合薬科学特別演習 総合薬科学特別研究						
専	教授	中陳 静男	平成22年4月	基礎薬学特論Ⅲ(隔年) 総合薬科学特別演習 総合薬科学特別研究						
専	教授	上田 晴久	平成22年4月	機能分子薬学特論Ⅰ(隔年) 総合薬科学特別演習 総合薬科学特別研究						
専	教授	高山 幸三	平成22年4月	機能分子薬学特論Ⅱ(隔年) 総合薬科学特別演習 総合薬科学特別研究						
専	教授	高橋 典子	平成22年4月	環境保健学特論Ⅲ(隔年) 総合薬科学特別演習 総合薬科学特別研究						
専	教授	津吹 政可	平成22年4月	創薬化学特論Ⅰ(隔年) 総合薬科学特別演習 総合薬科学特別研究						

届出時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
専	教授	三澤 美和	平成22年4月	治療薬学特論Ⅰ(隔年) 総合薬科学特別演習 総合薬科学特別研究	専	教授	成田 年	平成23年4月	治療薬学特論Ⅰ(隔年) 総合薬科学特別演習 総合薬科学特別研究	平成23年3月 定年により三澤教授退職 平成23年4月 成田准教授が教授に昇格し、配置換え
専	教授	福井 哲也	平成22年4月	環境保健学特論Ⅰ(隔年) 総合薬科学特別演習 総合薬科学特別研究						
専	教授	亀井 淳三	平成22年4月	治療薬学特論Ⅱ(隔年) 総合薬科学特別演習 総合薬科学特別研究						
専	教授	鈴木 勉	平成22年4月	治療薬学特論Ⅱ(隔年) 総合薬科学特別演習 総合薬科学特別研究						
専	教授	杉山 清	平成22年4月	臨床薬剤学特論Ⅱ(隔年) 総合薬科学特別演習 総合薬科学特別研究						
専	教授	吉田 正	平成22年4月	病態解析学特論Ⅰ(隔年) 総合薬科学特別演習 総合薬科学特別研究			後任未定			平成23年4月 病気療養につき大学院担当から外れる
専	准教授	細江 智夫	平成22年4月	基礎薬学特論Ⅰ(隔年) 総合薬科学特別演習 総合薬科学特別研究						
専	准教授	斉藤 貢一	平成22年4月	基礎薬学特論Ⅱ(隔年) 総合薬科学特別演習 総合薬科学特別研究						
専	准教授	遠藤 朋宏	平成22年4月	機能分子薬学特論Ⅰ(隔年) 総合薬科学特別演習 総合薬科学特別研究						
専	准教授	森下 真莉子	平成22年4月	機能分子薬学特論Ⅱ(隔年) 総合薬科学特別演習 総合薬科学特別研究						
専	准教授	服部 喜之	平成22年4月	機能分子薬学特論Ⅱ(隔年) 総合薬科学特別演習 総合薬科学特別研究						
専	准教授	南雲 清二	平成22年4月	創薬化学特論Ⅱ(隔年) 総合薬科学特別演習 総合薬科学特別研究	専	教授	南雲 清二	平成22年4月	創薬化学特論Ⅱ(隔年) 総合薬科学特別演習 総合薬科学特別研究	平成22年4月教授昇格 平成23年3月定年退職
					専	准教授	須藤 浩	平成23年4月	創薬化学特論Ⅱ(隔年)	平成23年4月 新規採用
専	准教授	山内 貴靖	平成22年4月	創薬化学特論Ⅲ(隔年) 総合薬科学特別演習 総合薬科学特別研究						
専	准教授	山崎 正博	平成22年4月	環境保健学特論Ⅰ(隔年) 総合薬科学特別演習 総合薬科学特別研究						

届出時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
専	准教授	高橋 勝彦	平成22年4月	環境保健学特論Ⅲ(隔年) 総合薬科学特別演習 総合薬科学特別研究						
専	准教授	千葉 義彦	平成22年4月	治療薬学特論Ⅰ(隔年) 総合薬科学特別演習 総合薬科学特別研究			後任未定			平成23年5月 配置換えにより大学院担当から外れる
専	准教授	成田 年	平成22年4月	治療薬学特論Ⅱ(隔年) 総合薬科学特別演習 総合薬科学特別研究	専	准教授	森 友久	平成23年5月	治療薬学特論Ⅱ(隔年) 総合薬科学特別演習 総合薬科学特別研究	平成23年4月 成田准教授が教授に昇格し、配置換え 平成23年5月 森准教授新規採用
専	准教授	大西 啓	平成22年4月	臨床薬剤学特論Ⅰ(隔年) 総合薬科学特別演習 総合薬科学特別研究	専	教授	大西 啓	平成22年5月	臨床薬剤学特論Ⅰ(隔年) 総合薬科学特別演習 総合薬科学特別研究	平成22年5月教授昇格
専	准教授	輪千 浩史	平成22年4月	病態解析学特論Ⅰ(隔年) 総合薬科学特別演習 総合薬科学特別研究						
専	准教授	武藤 章弘	平成22年4月	病態解析学特論Ⅰ(隔年) 総合薬科学特別演習 総合薬科学特別研究						
専	准教授	小林 恒雄	平成22年4月	病態解析学特論Ⅱ(隔年) 総合薬科学特別演習 総合薬科学特別研究						
専	講師	大野 修司	平成22年4月	基礎薬学特論Ⅲ(隔年) 総合薬科学特別演習 総合薬科学特別研究						
専	講師	大澤 匡弘	平成22年4月	治療薬学特論Ⅱ(隔年) 総合薬科学特別演習 総合薬科学特別研究	専	講師	池田 弘子	平成22年10月	治療薬学特論Ⅱ(隔年) 総合薬科学特別演習 総合薬科学特別研究	平成22年9月 大澤講師退職 平成22年10月 池田講師採用
専	講師	落合 和	平成22年4月	臨床薬剤学特論Ⅱ(隔年) 総合薬科学特別演習 総合薬科学特別研究						
					専	准教授	築地 信	平成22年1月	環境保健学特論Ⅱ(隔年) 総合薬科学特別演習 総合薬科学特別研究	平成22年1月 新規採用
					専	講師	長瀬 弘昌	平成22年4月	機能分子薬学特論Ⅰ(隔年) 総合薬科学特別演習 総合薬科学特別研究	平成22年4月 助教から講師に昇格
					専	講師	高橋 万紀	平成22年4月	機能分子薬学特論Ⅰ(隔年) 総合薬科学特別演習 総合薬科学特別研究	平成22年4月 助教から講師に昇格
					専	講師	金田 利夫	平成22年7月	創薬化学特論Ⅱ(隔年) 総合薬科学特別演習 総合薬科学特別研究	平成22年7月 配置換えで助教から講師に昇格
					専	講師	池内 由里	平成23年4月	臨床薬剤学特論Ⅰ(隔年) 総合薬科学特別演習 総合薬科学特別研究	平成23年4月 新規採用

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	濱田 潤一	平成22年4月	臨床薬学特別講義 I						
兼任	講師	和泉 俊一郎	平成22年4月	臨床薬学特別講義 I						
兼任	講師	林 同文	平成22年4月	臨床薬学特別講義 I						
兼任	講師	宮田 博	平成22年4月	臨床薬学特別講義 I						
兼任	講師	山田 悟	平成22年4月	臨床薬学特別講義 I						
兼任	講師	小川 郁	平成22年4月	臨床薬学特別講義 I						
					兼任	講師	中村 雅也	平成22年4月	臨床薬学特別講義 I	教育内容充実を図るため担当者を追加
兼任	講師	野村 総一郎	平成22年4月	臨床薬学特別講義 II						
兼任	講師	芹澤 宏	平成22年4月	臨床薬学特別講義 II						
兼任	講師	宮地 勇人	平成22年4月	臨床薬学特別講義 II	兼任	講師	天野 託	平成22年4月	臨床薬学特別講義 II	本人の業務の都合により担当者変更
兼任	講師	山澤 文裕	平成22年4月	臨床薬学特別講義 II						
兼任	講師	中村 薫	平成22年4月	臨床薬学特別講義 II						
兼任	講師	佐山 宏一	平成22年4月	臨床薬学特別講義 II						
兼任	講師	岡本 真一郎	平成22年4月	臨床薬学特別講義 III						
兼任	講師	村田 満	平成22年4月	臨床薬学特別講義 III						
兼任	講師	村瀬 忠	平成22年4月	臨床薬学特別講義 III						

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	田中 俊一	平成22年4月	臨床薬学特別講義Ⅲ					臨床薬学特別講義Ⅳ	教育内容充実を図るため担当科目変更
兼任	講師	下田 圭一	平成22年4月	臨床薬学特別講義Ⅲ	兼任	講師	岡野シエム洋尚	平成22年4月	臨床薬学特別講義Ⅲ	本人の業務の都合により担当者変更
兼任	講師	山川 正	平成22年4月	臨床薬学特別講義Ⅲ						
兼任	講師	赤石 誠	平成22年4月	臨床薬学特別講義Ⅲ						
兼任	講師	亀田 秀人	平成22年4月	臨床薬学特別講義Ⅲ	兼任	講師	波田野 琢	平成22年4月	臨床薬学特別講義Ⅲ	本人の業務の都合により担当者変更
兼任	講師	矢船 明史	平成22年4月	臨床薬学特別講義Ⅲ	兼任	講師	光永 修一	平成22年4月	臨床薬学特別講義Ⅲ	本人の業務の都合により担当者変更
兼任	講師	坂本 義光	平成22年4月	臨床薬学特別講義Ⅳ						
兼任	講師	稲山 嘉明	平成22年4月	臨床薬学特別講義Ⅳ						
兼任	講師	長嶋 洋治	平成22年4月	臨床薬学特別講義Ⅳ						
兼任	講師	渡邊 眞一郎	平成22年4月	臨床薬学特別講義Ⅳ						
兼任	講師	河邊 博史	平成22年4月	臨床薬学特別講義Ⅳ						
兼任	講師	上原 譽志夫	平成22年4月	臨床薬学特別講義Ⅳ						
					兼任	講師	信川 益明	平成22年4月	臨床薬学特別講義Ⅳ	教育内容充実を図るため担当者を追加

(注)・届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程))の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・年齢は、「**届出時の計画**」には**開設時現在の満年齢(科目就任時の満年齢ではありません)**を、「**変更状況**」には**平成23年5月1日現在の満年齢**を記入してください。
- ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

(2) 専任教員数

認可時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
37	22	59		39	15	54		
(40)	(19)	(59)	()	[2]	[Δ7]	[Δ5]	[]	

(注) ・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成23年5月1日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに、[] 内に届出時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	三澤 美和	定年退職
2	教授	南雲 清二	定年退職
3	講師	大澤 匡弘	他大学へ転出
4	教授	吉田 正	病気療養により大学院担当から外れる
5	准教授	千葉 義彦	配置換えにより大学院担当から外れる
6	教授	鎌田 勝雄	病気により死亡

(注) ・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職した教員（定年退職を含む）に対しては、新規採用もしくは配置換えにて補充をしており、学生の履修等への影響はほとんどない。
また、休職・死亡及び配置換えにより研究科委員会からはずれた教員分については、同じ研究分野の教授もしくは准教授を中心に関連する研究分野の教員がフォローアップできる体制を採っている。
学生への周知方法については、必要に応じて掲示もしくは関係する学生を集めて説明をしている。

(注) ・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画																		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成22年5月)	薬学部創薬科学科の入学定員 超過の是正に努めること	<p>本学薬学部は、新教育制度 への移行(平成18年度)に伴 い、薬学科(6年制)、創薬科学 科(4年制)の2学科を設置し、 長年の入学試験の実績を踏ま えて合格者を決定してきた。 薬学部全体では、過去5年間 の平均入学定員超過率が1.09 と、ほぼ適正な数値を維持し ているところであるが、ご指 摘を受けた創薬科学科は、</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>(年度)</th> <th>(入学定員)</th> <th>(入学者数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成19年度</td> <td>20</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>平成20年度</td> <td>20</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>20</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>平成22年度</td> <td>20</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>平成23年度</td> <td>20</td> <td>28</td> </tr> </tbody> </table> <p>となっており、創薬科学科に ついては定員超過率を適正な 数値に維持すべく努める所存 である。</p>	(年度)	(入学定員)	(入学者数)	平成19年度	20	34	平成20年度	20	38	平成21年度	20	41	平成22年度	20	27	平成23年度	20	28	創薬科学科については、過 去の入学試験のデータの分析 を行い、入学辞退者数の予測 値の精緻化に努め、入学者数 が適切になるよう努力する。
(年度)	(入学定員)	(入学者数)																			
平成19年度	20	34																			
平成20年度	20	38																			
平成21年度	20	41																			
平成22年度	20	27																			
平成23年度	20	28																			

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<薬学研究科 総合薬科学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
施設・設備 講義室3室、ラウンジ等 (938㎡)	薬学部6年制教育に対応するため、校舎を増築し、講義室を3室 (938㎡) を増やした。 (主に学部講義等で使用しているが、大学院でも使用可能)

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- FD推進委員会(学長を委員長として各学科長等で構成)を設置し、方針等を決定し、FD実施検討委員会(各学科長、教養科長、若手の教員及び事務職員他で構成)において実行している。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

- FD推進委員会は、必要に応じて開催(特別な理由がない限り、委員全員が参加している。)
- FD実施検討委員会は、数ヶ月に1回程度開催(特別な理由がない限り、委員全員が参加している。)

c 委員会の審議事項等

- FD推進委員会・・・FDの方針等の検討・決定
- FD実施検討委員会・・・具体的な実施について検討

② 実施状況

a 実施内容

- 授業評価アンケートの改善
- 講演会の開催
- 研究会・研修会の開催(CT:クリティカルシンキング研究会の設置を検討中)

b 実施方法

- 授業評価アンケート・・・その年度における各講義の終了時に、学生にアンケートを配付して集計
- 講演会・・・教授会開催日に教授会構成メンバー(講師以上)を中心に実施

c 開催状況(教員の参加状況含む)

- 講演会・・・教授会構成メンバーに加え、助教・助手にも参加を呼びかけ開催(出張等の校務及び体調不良の教員を除き、ほとんどの教授会構成メンバーが参加。助教・助手も多数が参加)

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- 授業評価アンケート・・・集計したものについては、学長に報告するとともに、各教員が次年度以降の講義への対策に反映させている。
- 講演会・・・各教員の具体的な取組み等については把握できていないが、講演後に質疑応答や演者を囲んだ意見交換を行っており、各教員への刺激となっていることが予想される。

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

薬学部「創薬科学科」（平成18年度設置、入学定員20名 4年制学科）を基礎として、平成22年度より「医薬の創製からその適正使用に向けた生命にかかわる物質及びその生体との相互作用を対象とする統合的な教育・研究」を実施し、従前から継続した大学院教育を施すとともに、もって、「薬学領域を中心とする大学の教員・研究者、製造企業の研究・開発担当者、薬学・医療領域で活躍できる公務員等の人材の育成」を目指して、社会の要請に応えるべく、大学院薬学研究科に「総合薬科学専攻（博士前期課程（修士課程）」（入学定員16名）を設置した。教育は平成22年4月から開始され、平成23年度には完成年度を迎えるため、まだ成果と言えるものはないが、2年間とも入学定員を上回る学生が入学し、順調に教育が行われている。

今後も、専攻分野における研究能力及び基礎となる精深な学識を養うという修士課程の目的に沿った教育を実践していく予定である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成24年秋以降に公表予定（2年に1度、偶数年度に刊行：平成22年度・23年度分は24年度に刊行予定）

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、全国の薬科大学・薬学部等に各1冊を配布
- ・刊行後に、大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成22年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受け、大学基準に適合していると認定を受けた。

（注）・届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成23年6月)

c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)

d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス

(<http://polaris.hoshi.ac.jp/kyougaku/daigakuin/news/news2.html>)

- (注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてにメールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。